



SKI JUMPING

FIS ニュー・スター・トロフィー

EDITION 2022 / 2023

INTERNATIONAL SKI FEDERATION
SKI ASSOCIATION OF JAPAN
SKI JUMPING COMMITTEE

FIS New Star Trophy ルール 2022/2023

凡例： NST=New Star Trophy ニュー・スター・トロフィー

1. 大会地のカレンダー計画、エントリー、指名

1.1 FIS ユーススキージャンプ

各スキー連盟は、決められた期限内にカレンダー計画小委員会へ NST 大会（個人戦、男女それぞれカテゴリー4 つまで）の申請をする権利を有する。

2. NST 大会参加権利

2.1 年齢制限

カテゴリーU9（アンダー9）

2014 年、2015 年に生まれた男女が当該シーズンに参加出来る。

カテゴリーU11（アンダー11）

2012 年、2013 年に生まれた男女が当該シーズンに参加出来る。

カテゴリーU13（アンダー13）

2010 年、2011 年に生まれた男女が当該シーズンに参加出来る。

カテゴリーU15（アンダー15）

2008 年、2009 年に生まれた男女が当該シーズンに参加出来る。

2.2 エントリーを提出することにより、各国スキー連盟は、自国選手に対し以下を保証する全ての責任を持つ。

適切な保険に加入-これは全てのチームメンバーに適用。

使用ジャンプ台を問題なく飛べる能力を有し、競える資格がある。

2.3 NSA（各国スキー連盟）の参加人数

- 各国スキー連盟は、NST 大会の各カテゴリーに無制限にエントリー出来る。

3. 競技方法及びスタート順

NST 大会は、ICR452 条（個人戦）に従い、以下の項目を含め実行されなければならない。

3.1 個人戦において、選手を 4 つのグループに分ける。選手が所属する NSA は選手が入るグループを指定する。各グループのスタート順は以下のドローで決める。

ジュリーはグループの人数を減らす決定が出来る。NSA は選手を均等にエントリーしなければならない（例：選手 6 名の NSA、4 グループ-選手 1-グループ 1、選手 2-グル

ープ 2、選手 3-グループ 3、選手 4-グループ 4、選手 5-グループ 1、選手 6-グループ 2)

4. NST 大会に関する競技用品の例外

- スキー：スキーの長さは、身長 \times 140%を上限とし、BMI ルールは適用しない。
- スーツ：パーツ数及びスーツのデザイン（カット：裁断）を制限しない。
- ビンディング：標準のビンディングのみ使用できる。ビンディングの改良は認められない。ロッドのビンディングを使用する場合、真っすぐなロッドで真っすぐなクリップでなければならない。ビンディングはスキーに平行に固定しなければならない。
- ジャンプブーツ：標準のブーツのみ使用できる。左右非対称の改良は認められない。
- ウエッジ（“ジェット”）：真っすぐで左右対称のウエッジのみ使用できる。

5 宿泊

招待状及びインフォメーションパックが、主催者から各スキー連盟に送られなければならない。参加チームは、望む部屋数の予約を確実にするため、表記された期限までに参加選手をエントリーしなければならない。

予約した部屋を使用しなかった場合、主催者はそのスキー連盟に対しキャンセル料金を請求する権利をもつ。

主催者又はホテルマネージャーは、チームキャプテンの同意なしに、大会日に部屋を明け渡すことを要求することは認められない。

6. ジャンプ台の公認

NST 大会で使用するジャンプ台は、有効な FIS 公認証、又は、当該 NST 大会限定で発行された仮ジャンプ台公認証を持っていないなければならない。

6.1 仮ジャンプ台公認証

仮ジャンプ台公認証は、NST 大会を開催するにあたりジャンプ台が安全で、条件を満たしていることを証明するものである。

ジャンプ台公認証は、FIS ホームページで公表する NST ジャンプ台公認基準に従い発行される。

公認手続きは、上記基準に準じ行われる。

7. 役員の任命

7.1 TD

NST 大会では、FIS ジャンプ TD が、役員・ルール&コントロール小委員会より任命される。

7.2 TDA

NST 大会では、TDA は、開催する NSA により提案される。TDA は FIS ジャンプ TD の資格を所持、又は、少なくとも国内ジャンプ TD の資格を所持し FIS ジャンプ TD のキャンディデートであること。NSA の提案は、役員・ルール&コントロール小委員会により承認されなければならない。

7.3 飛型審判員

NST 大会では、5 名の飛型審判員が開催する NSA により任命されなければならない。飛型審判員は FIS ジャンプ飛型審判員の資格、又は、少なくとも国内ジャンプ飛型新派員の資格を所持していなければならない。

7.4 役員への費用支払い

NST 大会に任命された役員の費用支払いは、開催する NSA のルールに従い行われる。

7.4.1 TD への費用支払い

FIS TD の費用支払いは、主催者の義務である。

車による費用は、1 キロにつき 0.6 ユーロ、最大 250 ユーロまで保証される。

- 他の役員又はチームと同行の移動の場合、1 キロにつき 0.15 ユーロ、最大 150 ユーロまでとする。

- 移動日及び現地滞在全日分、日当 80 ユーロを支払わなければならない。

しかしながら、任命された FIS TD が開催国からの場合、費用の支払いは当該 NSA のルールに準じて行われる。

8. リザルトの計算

NST 大会では、国内データサービスシステムを使用できる。

リザルトは Html 形式で FIS に提供されなければならない。